

県教委基本理念
兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり
-「未来への道を切り拓く力」の育成-

【校訓】
・輝く
・清く
・強く

赤穂教育プラン
“あすの赤穂”をになう
ころ豊かで自立する人づくり
～夢と志を育む教育をめざして～

学校教育目標

夢をもち ころ豊かで 自ら考え行動できる児童の育成
～なりたい自分を見つけ、努力し続ける児童の育成～

めざす児童像

輝く【知】 考える子（自ら進んで学び、高め合う子）
清く【徳】 親切な子（思いやりの心を持ち、仲良く助け合う子）
強く【体】 強い子（めあてをもって、がまん強く最後までやり抜く子）

めざす学校像

- ◇ 全ての児童が安心して学べる安全な学校（いじめ、暴力の防止）
- ◇ 教職員全員がチームの一員としての誇りと自覚を持って、職務を遂行する学校
- ◇ 凡事徹底ができる学校
- ◇ 家庭や地域と共に児童を「共育」する学校コミュニティの創造

めざす教師像

- ◇ 児童一人一人の良いところや成長を認め、ほめて伸ばす教師
- ◇ 児童一人一人に居場所のある学級経営を行う教師（よいものを光らせる よいものを認め、広める）
- ◇ 教育の専門家として学び続ける教師（得意分野づくりを通じた指導力の向上）

めざす保護者像

- ◇ わが子とじっくり語り合える保護者
- ◇ わが子にめあてをもたせ、実現に向けて励ます保護者
- ◇ 家や地域でわが子の手本となるよう努める保護者

重点Ⅰ 確かな学力の育成	重点Ⅱ 道徳教育の充実	重点Ⅲ 人権教育の充実
1 学習習慣や知識・技能の定着を図る。 ・「ぐんぐんタイム」の充実 ・家庭での学習課題の適切な設定 2 自校の児童の課題に対応した授業改善に努める。 3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。 ・児童から多様な意見が出せる授業の展開 ・児童が互いの意見を聞き合い、高め合う授業の展開	1 教育活動全体を通じて児童の道徳性を養う。 ・全教職員が協力した道徳教育の推進 ・思いやりに満ちた人間関係の構築 2 道徳科（道徳の時間）における指導の充実を図る ・他者や自己との「対話」による道徳の授業の推進 ・「生命尊重」「規範意識」等について系統性を踏まえた指導 3 家庭・地域への道徳の授業公開を進める。	1 人権尊重の精神を基盤とした教育を行う ・言葉を大切にし、児童の人権を尊重する指導 ・集団の中に一人一人の居場所をつくり出す教育 ・指導内容の充実と指導方法の工夫 2 個性や能力を生かす教育を推進する。 ・共生社会の実現に向けて、個性や能力を生かす教育の推進
重点Ⅳ 思いやりの心の育成	重点Ⅴ 健康・安全・体力づくりの推進	重点Ⅵ 児童理解に基づく生徒指導の充実
1 相手を思いやる心を育てる ・異年齢による縦割り班（にこにこ班）活動の充実 ・児童会活動、学級活動の充実 2 互いに認め合う学級づくりを行う。 ・賞賛の場の設定 ・嘲笑や非難のない学級づくり 3 好ましい人間関係を構築する。 ・自他共に大切にし、「命の大切さ」を実感できるよう指導方法の工夫	1 体力・運動能力の向上に取り組む。 ・体育の時間の充実 ・課題となる体力づくりへの取組強化 ・外遊びや継続した運動の奨励 2 健康な生活を送るための基礎を培う。 ・「早寝早起き朝ごはん」運動の推進 ・栄養バランスのとれた学校給食の献立を知り、生きた教材として活用 3 安全に対する意識を高める。 ・安全に関する教室、講習会の実施	1 問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応を図る。 ・アンケート、教育相談によるいじめの積極的な認知 ・組織的対応と家庭、地域、関係機関等と連携した取組 ・不登校の予防と支援の充実 2 児童理解を基盤とした対応力の向上をめざす。 ・指導方法、指導体制の工夫・改善
重点Ⅶ キャリア教育の推進	重点Ⅷ 特別支援教育の充実	重点Ⅸ 学校業務改善の推進
1 社会的自立に必要な態度や能力を育てる。 ・キャリア教育の目標を明確にし、組織的・系統的な推進体制を整備 ・基礎的・汎用的能力の育成。 2 社会参画に必要な態度や能力を育てる。 ・各教科や児童会、学校行事等において、社会の一員としての自覚や社会参画への意欲・態度を養う ・事前・事後指導の充実	1 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育を充実する。 ・チームで取り組む校内支援体制の充実 ・ニーズに応じた合理的配慮の提供 2 交流及び共同学習を充実する。 ・「心のバリアフリー」の推進に向けた交流及び共同学習 3 学びの継続によりすべての教職員の専門性を向上する。 ・発達障害等に関する指導力の向上 ・赤穂特別支援学校等との連携	1 勤務時間の適正化に向けた学校全体での取組を推進する。 ・会議の見直しや定時退勤日の完全実施等の徹底 2 働きやすい職場環境づくりを進める。 ・児童と向き合う時間を確保した教育活動の充実 3 教職員一人一人の意識改革を図る。 ・記録簿により自らのタイムマネジメント確立に努める

学校評価（PDCA）を生かした教育活動の改善

学校・家庭・地域が連携・協働した「地域とともにある学校」づくり